

# 消防署50周年

となっている町の消防について特集します。

問 消防課 ☎ 046(285)3131

## 消防団のあゆみ

**1955**

1956年 9月 中津村の編入合併に合わせ  
**15分団の「愛川町消防団」が発足**

1958年 消防操法大会に出場

**1970**

1975年 8月 第25回 県消防操法大会  
最優秀賞

**1985**

1990年 7月 第37回 県消防操法大会  
最優秀賞

**2000**

2000年 7月 第42回 県消防操法大会最優秀賞  
10月 第17回 全国消防操法大会へ出場

**2010**

2018年 4月 大塚下工業団地と県内陸工業団地に勤務する方で  
構成した機能別消防団を発足。工業団地内勤務の方  
で機能別消防団が結成されるのは県内初。

**2020**

2023年 3月 総務省から救助用資機材、防災学習用資機材搭載型  
小型動力消防ポンプ付積載車の無償貸し付けを受ける

**2025**

2024年 7月 災害時に外国語での避難誘導や、避難所での通訳など  
を行う多言語機能別消防団を発足

## 進化した 消防団の装備と体制

昔の消防団活動は、手引動力ポンプや軽装備での活動が中心でした。現在では、防火衣やヘルメットなどの防護装備が充実し、夜間や悪天候でも安全性が大きく向上したほか、無線機などにより情報共有の体制が整ったことで、災害時の連携もスムーズになりました。



消防団は、火災現場で活動するための最新の小型動力ポンプ付積載車を保有し、機動力の高い車両で地域に密着した活動を行っています。

また、平成30年には、自らが就業する地域を守るべく、町内工業団地における機能別消防団を発足したほか、令和6年には、有事の際に外国籍住民に対応できるように多言語機能別消防団を立ち上げるなど、「より安全に、より効果的に活動できる消防団」へと進化しています。



全国的にも珍しい多言語機能別消防団。さまざまな国籍の男女7人の団員が計6言語に対応する。

## 消防団員募集中 問 消防課 総務班 あなたも地域防災の要 ☎(内線) 3712

消防団員になるのに、資格や専門的な知識はいりません。18歳以上で、町内に在住または在勤の「自分たちの地域は自分たちで守る」という気持ちがある方なら、どなたでも入団できます。

「消防団に入団したい!」「もう少し詳しく教えてほしい」という方は、消防課へご連絡ください。



## 山林火災を出さないよう 火の取り扱いに注意!! 問 消防課 予防班 ☎(内線) 3717

近隣地域でも大規模な林野火災が発生しています。  
林野火災の主な原因は、たき火、野焼き、たばこなどの人的要因によるものです。乾燥・強風時には屋外で火を使わないなど、一人一人が火災予防を確実に行ってください。  
また、乾燥時には住宅や工場の火災も発生しやすくなります。火の取り扱いには十分注意し、尊い命と大切な財産を火災から守りましょう。



消防防災ヘリコプターによる空中消火(総務省消防庁提供)

これまでも、これからも 地域を守る存在として

# 消防団70周年&消防本部・

火災だけでなく、風水害や土砂災害など、「いざ」という時に動く人が地域にいることは、何よりの安心です。今年には消防団発足70周年、消防本部・消防署発足50周年。これまでも、これからも私たちの暮らしの支え

## 知ってる？

### 消防本部・消防署と消防団の違い

本町には「消防本部・消防署」と「消防団」の二つの組織があります。消防本部・消防署は職員で構成された常勤の専門機関(常備消防)で、火災や救急、災害に24時間体制で対応します。

一方の消防団は、地域に暮らす人たちが団員として参加する非常勤の防災組織で、普段はそれぞれの仕事を持ちながら、災害時に出勤し活動します。専門力の消防本部・消防署と、地域に根差した消防団、二つの力が連携することで、私たちの町の安心は支えられています。

### 常備消防の“専門力”はここまで進化

本町の消防本部・消防署では、消防車両や救助資機材の高度化を進め、火災だけでなく、救急・水害・土砂災害など多様な災害に対応できる体制を整えています。指令システムや通信機器のデジタル化により、通報から出勤までの時間短縮にもつながっています。訓練内容も専門化が進み、救助技術や医療知識を備えた職員が活動しています。

高機能消防通信指令システムの導入により、火災・救急などに迅速かつ的確な出勤指示や情報伝達が可能となりました。



人命救助活動の充実を図るため、油圧 クレーン、車両ウインチ、照明などの救助装置を搭載した救助工作車を導入しています。

## 消防本部・消防署のあゆみ



1955年1月 愛川町と高峰村が合併

1956年9月 中津村を編入合併



1962年3月 愛川町火災予防条例制定

1970年4月 総務課防災係7名採用

救急業務開始

防災消防課設置

12月 赤バイクの寄贈を受ける

1972年 愛川町消防本部設置

1976年4月 愛川町消防庁舎竣工

1977年4月 消防署半原出張所設置



1985年1月 消防署半原分署開所

1995年1月 阪神・淡路大震災に伴い、職員を応援救助活動に派遣

1996年4月 高規格救急車の運用を開始

半原分署に救急隊を配備



2000年5月 「私もわが家の救急隊員の町 愛川」推進大会を実施

2001年5月 「応急手当普及推進の町 愛川」を宣言

2005年3月 新消防庁舎竣工

「高機能消防通信指令システム」を導入



2011年3月 東日本大震災の発生に伴い緊急消防援助隊を派遣

2019年5月 緊急時の多言語通訳サービスの運用開始(17言語対応)

9月 通信指令室に聴覚障がい者用通報システム「Net119緊急通報システム」を導入

2020年6月 愛川町AED設置事業所等登録要綱の制定

2023年4月 本町初の女性消防吏員2名を採用

8月 公共施設AED屋外設置



2026年1月 愛川町火災予防条例を改正し、林野火災の注意報・警報を新設

## 防災への誓いを新たに消防出初式を開催

1月10日、「令和8年愛川町消防出初式」を開催。

式典では消防功労者への表彰が行われ、次の方々が受賞されました。



### 県知事表彰【永年勤続20年表彰】

第2分団 分団長・小曾根英樹さん  
第2分団第4部 部長・小川 直さん

### 神奈川県消防協会

#### 厚木市愛甲郡支部長表彰【功績表彰】

第1分団第2部 副部長・丸山雄平さん  
第1分団第3部 班長・西村明博さん  
班長・橋本啓史さん  
第1分団第5部 班長・小松 慶さん

第2分団第1部 班長・平本敏憲さん  
第2分団第2部 副部長・熊澤真昭さん  
班長・樋川 暁さん  
第2分団第3部 班長・諏訪部陽輔さん  
班長・諏訪部 智さん  
第3分団第2部 班長・井上由夢さん

### 町消防団長表彰【功績表彰】

第1分団第6部 班長・佐藤凜平さん  
第2分団第4部 班長・石河龍人さん  
第3分団第4部 班長・石鎧和也さん

### 町消防団長表彰

#### 【永年勤続10年表彰】

第1分団第6部 班長・佐藤凜平さん  
第2分団第4部 班長・石河龍人さん  
第3分団第2部 団員・小山 諒さん  
第3分団第4部 班長・石鎧和也さん

### 町消防団長表彰

#### 【永年勤続7年表彰】

第1分団第1部 班長・浅見友教さん  
第1分団第3部 班長・内藤啓太さん  
団員・本橋健太さん  
第1分団第6部 班長・伊藤慧太さん  
第2分団第1部 班長・奥谷朋広さん  
第2分団第2部 団員・榎本大輝さん  
第3分団第1部 班長・関戸大夢さん  
団員・齋藤吉伸さん  
第3分団第3部 班長・足立原 修さん  
団員・木村勇大さん  
第3分団第4部 班長・近藤繁宇さん  
団員・吉田有佑さん  
団員・天野悠平さん

### 愛川町長表彰【団体表彰】

第1分団